

## 休暇村 能登千里浜野営場の平成18年度管理状況

施設所管課	環境部 自然保護課
指定管理者	(財)休暇村 能登千里浜 支配人 矢津田 則幸
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日

### (1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
使用する者への利便の提供に関する業務	施設の使用受付、案内等の接遇向上 ・従事員全員に対し、清掃管理を徹底 利用者の苦情・意見の把握・対応 ・利用者ニーズの反映(施設の改善など) その他特記事項 ・休暇村本館にて行っている天体観測会への参加
利用の促進に関する業務	自主事業の企画・実施 ・手ぶらキャンプ等の企画を実施(69人) ・キャンプ&ホテルプランの実施(16人) 施設の情報提供、広報、広告 ・ホームページを開設 ・チラシの作成。 周辺地域、関係機関との連携・協力の推進 ・周辺小中学校及び子供会への利用促進、ゲートボール大会
使用の許可に関する業務	使用許可、使用料の徴収、納入 ・使用許可の件数((2)参照) ・使用料の収入実績((3)参照)
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	清掃 保守点検 園地整備
(その他知事が必要と認める業務)	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 ・危機管理マニュアルの策定、職員への教育 個人情報パスワード付のコンピューターによる管理

### (2) 施設の利用状況

利用指標((設定している場合)利用人数、稼働率などの数値目標)

指標	H17年度 (参考)	H18年度	前年度比	増減理由
利用者数(人)	3,015人	3,478人	+463人	近年のキャンプブームの復活 特に団体よりも家族連れが多い。

使用許可等の状況

	承認件数		
オートサイト	287		
フリーサイト	469		
合計	756		

(3) 使用料の収入実績  
 利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
キャンプ場	1,570,000 円		

(4) 収支決算

(単位：千円)

収入		支出	
管理料	1,363	人件費	2,940
テントサイト利用料	1,570	光熱水費	445
その他収入(用具レンタル、売店)	3,747	修繕費	1,429
		その他	2,176
合計	6,680	合計	6,990
収支差額	310		

(5) その他、県が必要と認める事項(管理の実態を把握するために必要な事項)  
 利用者アンケート結果、評価、苦情、要望  
 なし

事故、故障等

年月	内容	対応
平成 18 年 8 月	女子トイレ排水の詰まり。	即対応した。

その他報告事項など

--

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
サービスの維持・向上に向けた取組みが行われているか。	A	・ 枯れた木の切り株を抜く等の園地整備を行い、利用環境を改善している。
利用促進に向けた取組みが行われているか。	A	・ 天体観測会等イベントの充実や、宿泊施設との連携による自主企画や積極的な広報活動の結果、前年度より利用者を大きく上回っている。
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	・ 仕様書等に基づき、適切な管理が行われている。
緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	B	・ 非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、安全対策が適切である。
適切な管理運営を行う組織・体制か。	A	・ 全国に展開している休暇村協会の専門的ノウハウを活かし、業務に関する研修・講習が十分なされている。 ・ 適切な職員の配置がなされている。 ・ 環境に配慮した取り組みを行っている。
その他、必要と認める事項(例:苦情処理、個人情報保護)	A	・ 個人情報はパスワードで保護されたコンピュータによる適切な管理がなされている。
総合評価	A	・ 施設の設置目的にあった管理運営がなされており、今後も専門的なノウハウを活かした管理を期待する。

評価基準

- A(優): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を上回っている  
 B(良): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を十分に実施している  
 C(可): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある  
 D(不可): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

- A(優): 適正であり、優れた実績をあげている  
 B(良): 適正である  
 C(可): 概ね適正であるが、一部改善を期待する  
 D(不可): 改善が必要である